

消防団に関する各種制度について

消防団協力事業所表示制度

「消防団協力事業所表示制度」とは、従業員が消防団に相当数入団するほか、消防団に資機材を提供するなど、消防団活動に協力する事業所を顕彰する制度です。認定を受けた事業所は、取得した表示証を提示できるほか、自社ホームページなどでも広く公表し、地域貢献活動をPRできます。

「消防団協力事業所表示制度」表示マーク▶



機能別団員・分団制度

「機能別団員・分団制度」とは、入団時に決めた特定の役割や活動に参加できる制度です。災害時はもとより平常時においても、持っている能力や技術を活かして、地域に貢献することができます。

機能別団員の例 大規模災害団員／消防職団員OB団員

機能別分団の例 予防広報分団／事業所分団

学生消防団活動認証制度

「学生消防団活動認証制度」は、消防団員として活動した学生に対し、市町村長が「学生消防団活動認証証明書」を交付する制度です。この証明書は就職活動の自己PRなどで活用できます。なお、本制度は大学や経済団体へ周知されています。



消防団の主な待遇について

多くの市町村で年額報酬(数万円程度)や災害活動または訓練に出動した際の出動手当(一回あたり数千円程度)などが支給されます。また、以下のような待遇もあります。

公務災害補償

消防団活動中に負傷した場合の補償制度があります。

退職補償金

一定期間以上勤務して退団した際には、退職補償金が支給されます。

被服の貸与

消防団活動に必要な被服が貸与されます。

表彰制度

職務にあたって功労、功績があった場合には、表彰されます。

消防団へ入団するには

① お近くの消防団を探す

ホームページ上の消防団一覧から、お近くの消防団を探します。

② 消防団へ問い合わせる

入りたい消防団の連絡先を調べ、電話・メールなどでお問い合わせください。

③ あなたも消防団員に！

お問い合わせ先の案内に従い、入団手続きが完了すれば、晴れて「入団」となります。

上記制度内容及び消防団への入団手続などについては、各市町村ごとに定められていますので、居住地(または勤務地)の市役所・町村役場または最寄りの消防署にお問い合わせください。

[お問い合わせ先]

あなたのチカラが、
まちの明日を
つくってる。

SAVE
MY
TOWN

消防団応援
サポーター
稲村亜美

職業：保険会社勤務
松本 明裕さん
川崎市麻生消防団
東柿生分団 団員

消防団員募集

消防団に関する詳しい情報はWEBで
<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/>



@FDMA_JAPAN



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency



総務省消防庁
Fire and Disaster Management Agency



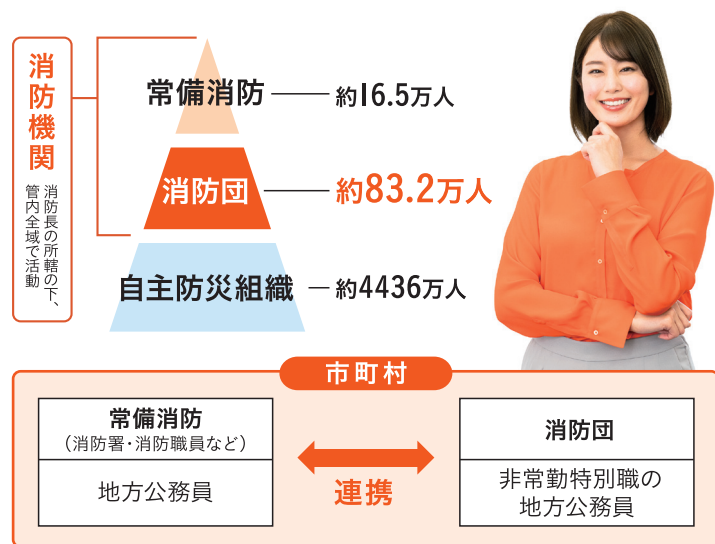
消防団について

消防団は、消防組織法に基づき、全国の各市町村に設置されている組織です。その構成員である消防団員は、他に本業を持ちながら、権限と責任を有する非常勤特別職の地方公務員として、「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、消防防災活動を行っています。



消防団員と消防職員の違いは？

消防団員は、非常勤特別職の地方公務員として、火災や大規模災害発生時に自宅や職場から現場へ駆けつけ、消火活動等を行います。一方、消防職員は、専任の職員として、消防本部や消防署に勤務しています。



消防団の主な活動について

平常時の活動

消火・防災訓練

火災現場での活動を想定した訓練（放水訓練等）を行っています。また、各地域で開催される防災訓練にて、自主防災組織等への訓練指導等を実施しています。



救命講習会

万が一に備えて、救急車が到着するまでの応急手当やAEDの使い方等を指導する講習会を行っています。



防火啓発活動

各家庭を訪問しての防火指導、幼稚園などでの防火教育等の啓発活動を行っています。



災害時の活動

消火活動

火災発生時には、自宅や職場から現場に駆けつけます。消火活動、後方支援など、その場に応じた活動を行います。



捜索・救助活動

大規模災害発生時等に地域をよく知る立場から、他機関と連携をとって、捜索・救助活動、避難誘導を行います。



水防活動

台風などの風水害の際は、河川の水位の警戒、土のうづくり・土のう積みのほか、排水、浸水防止などに迅速に対応します。



ここがポイント！

- 1 働きながらも地域に貢献できる！
- 2 参加しやすいさまざまな制度がある！
- 3 性別・職業問わず活躍の場がある！

対談インタビュー

稲村亜美 × 消防団員



先輩方の熱い気持ちに魅了されて

稲村：松本さんが消防団に入った理由を教えてください。

松本：大学時代に講師の方から紹介していただいたことがきっかけです。消防活動を通して、自分がお世話になったまちを守ることができるというところに興味を持ちました。

稲村：入団の決め手は何ですか？また、消防団ではどのような活動をされているんですか？

松本：団員さんの地域を守ろうとする熱い気持ちに魅力を感じたからです。夜間でも要請があればすぐに現場に駆けつける先輩方の姿がとにかくカッコ良くて。普段は保険会社で営業をしているので、両立できるか不安だったのですが、自分もその仲間に入ってまちを守りたいと思い入団しました。放水訓練や防災訓練、地域のパトロールやイベントの警備などが主な活動です。



操法大会で好成績

稲村：特に印象に残っている活動はありますか？

松本：小型ポンプの操作スピードや、正確性を競う消防操法大会です。先輩方と一緒に何度も練習を重ねました。その結果、平成29年の麻生消防団ポンプ操法大会では最優秀三番員を獲得することができました。先輩方の力強い支えがあったからこそ受賞できた賞だと感謝しています。

稲村：素敵なお関係ですね。

松本：はい。納得いくまで親切に教えてくれました。皆さんが喜んでくれたことがうれしかったですね。



仲間との絆は一生もの

稲村：松本さんにとって消防団はどんな場所ですか？

松本：尊敬できる仲間と出会える場所です。訓練がつらい時もあります。それでも先輩方と食事に行ったりすると仲間意識も強くなって「よし、また頑張ろう」という気持ちになれるんです。



松本：消防団で生まれる絆は一生ものだと思います。そういう一面があるのも消防団の魅力なので若い人にもどんどん入ってきてほしいですね。社会で生きていく上で必要なものがたくさん学べます。

稲村：まずは参加してみることでよね。これからも頑張ってください！

